

まつぼっくり



学校教育目標「主体的に学び合い、達成の喜びを自信に変え、ふるさとを誇りに思う児童の育成」

この夏、学んだこと

7月28日午後4時27分、車を運転しているととんでもない左右の揺れを感じ、運転できなくなり、ハザードランプをつけて道路上に停止しました。周りの車もほぼ一斉に停止しました。まだ大きく揺れています。一瞬で大地震がきたとわかりました。外出してすぐだったので自宅に引き返しました。自宅は無残な状態でした。田端教頭先生から連絡があり、学校は大丈夫とのことでした。いろいろなところと連絡を取りながら、できる片付けを妻と二人で行い夜を迎えました。次の朝、各保護者へメールを送信したところ、子どもたちの大きな怪我や大きな自宅の損壊もなく、胸をなで下ろしたことでした。地震はいつか来るとは思っていました、まだずっと先のことだと油断していました。遠く離れた家族・友人・お世話になった方々からたくさんの励ましの言葉をいただきました。今は命があって良かったと思っています。今回の令和8年熊本地震により約38名もの尊い命が奪われました。今後の関連死も心配です。とても悲しくつらいことです。入院されておられる方も複数です。ご冥福と共に早期のご快復を祈るばかりです。

今回のことで、山口・福岡・京都・奈良など複数の他府県の消防や警察の車両や自衛隊の方々の災害派遣車をたくさん目にしました。この暑い中ご自分のこともあるのに、遠方から被災した人のために救出や支援に来てくださっておられます。ボランティアの方々もそうです。ありがたいことです。感謝しかありません。私は一校長として何ができたかと考えると、「これだ」というものが出てきません。しかし、今後も子どもたちには「命」を守り続けてくださいと言い続けます。自分では回避できない災害や事故などはあると思います。自他の命が大事で尊いものには変わりありません。そのことを胸に刻み、日々命があることに感謝してほしいと思います。まずは生きていること、そして余裕が出てきたら人のために自分の力を使うことでしょうか。私はまだまだですが、その気持ちは忘れないようにと思っています。三角小学校の子どもたちも今回の地震でとても怖い思いをしたのではないかと思います。この体験から想定外のことも想定していくことの大切さを改めて考えました。

人間は所詮人間で、地球に生かされているのです。自然には逆らえません。自然の中の一部である私たち一人一人が、今ある命に感謝しながら共に支え合い・共に学び合い・仲良く過ごしていくことの大切さを再認識させられました。三角小学校の子どもたちにも、これからも自他を好きであり大切にしながら、主体的に学び合い、達成の喜びを自信に変え、ふるさとを誇りに思う生き方をしていってくださることを願います。前期後半も気を引き締め一緒に学んでいきましょう。

みんなと先生たち

